

目次

- 01 編集方針
- 02 トップメッセージ
- 03 東海理化 プロフィール
- 04 東海理化製品

○ 環境報告 Environmental Report

05 環境活動の取組み事項

特集 1

- 07 三位一体の力から生まれた「次世代ATシフトレバー」

特集 2

- 09 新工法“インジウム蒸着”を採用した「金属調アウターミラーカバー」

特集 3

- 10 2016～2020年度「第6次環境取組みプラン」

- 11 低炭素社会の構築

- 16 循環型社会の構築

- 18 環境保全と自然共生社会の構築

- 21 環境経営

- 25 各工場の取組み

- 26 第5次環境取組みプランの実績

○ 社会性報告 Social Report

- 27 コーポレート・ガバナンス

- 28 コンプライアンス/機密管理/
情報セキュリティ/リスク管理

- 29 社員との関わり

- 35 社会との関わり

- 36 お客様との関わり

- 37 仕入先様との関わり

- 38 ●第三者意見 杉山 範子特任准教授
「環境・社会報告書2016」を読んで

編集方針

本報告書は、東海理化グループの環境および社会性に関する活動を報告し、ステークホルダーの皆さまとのより良いコミュニケーションを図ることを目的に作成しています。できるだけ具体的かつ、その効果がわかるような報告内容とすることを心がけるとともに、編集・デザインに関しては、文章や色づかいに配慮するほか、文字フォントとしてユニバーサルデザインフォントを採用するなど、読みやすさに配慮しています。

また、報告書の客観性・信頼性向上のため、「第三者意見」を名古屋大学の杉山範子特任准教授に依頼し、その結果をP.38に掲載しています。

▶ 対象範囲

株式会社東海理化および東海理化グループの取組みを報告しています。

▶ 対象期間

2015年4月1日～2016年3月31日

※活動の理解を深めるものとして、一部2016年4月以降の活動や計画も記載しています。

▶ 対象読者

お客様、仕入先様、株主様、地域社会、社員など、当社と関わりのある全てのステークホルダーの皆さま。

▶ 参考ガイドライン

- 環境省「環境報告書ガイドライン2012年度版」
- GRI「サステナビリティレポーティングガイドライン(第4版)」

本報告書に掲載しているデータについては、最新のデータ(2015年度末時点)に見直しております。(過去の報告書に掲載したデータとは異なる場合があります。)

環境・社会報告書は 4つのツールで構成されています

環境・社会報告書 2016

2015年度の
環境・社会性の活動を詳しく
ご紹介している年次報告書です。

ダイジェスト版

東海理化の環境・社会性の
取組みをわかりやすく
ご紹介している情報の入り口です。

エコデータファイル 2016

環境に関わる
より詳しいデータ資料を
ご紹介しています。

<http://www.tokai-rika.co.jp/>

東海理化の事業活動から製品情報、
過去の環境活動、IR活動(経済性報告)
などを紹介していきます。

本誌の発行の環境・社会活動についてのお問い合わせ

株式会社東海理化 施設環境部

〒480-0195 愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地
TEL(0587)95-9002(直通) FAX(0587)95-1261

株式会社東海理化 総務部

〒480-0195 愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地
TEL(0587)95-8192 FAX(0587)95-1917

トップメッセージ

自然、地域と共生する 企業をめざして

株式会社東海理化
取締役社長

三浦憲二

当社グループは、自動車部品のサプライヤーとして、人とクルマのより良いコミュニケーションをつくり出す製品の製造・販売を通じて、世界15カ国を拠点に、グローバルな事業展開を進めております。

2015年度は、グローバルでの市場拡大が進む中、新興国戦略車向け製品の立ち上げや北米事業充実のためのメキシコでの新拠点設立、フィリピンとインドの工場拡張など、「海外での次なる成長」への布石を打つ1年となりました。

また、製品開発の分野では、自動車産業における次世代環境車、自動運転、燃費改善等の開発競争が加速をみせており、より高いレベルの安全・安心・快適を提供する次世代製品の開発をめざして「モノづくり改革」に取組みました。特集でも取上げておりますが、ATシフトレバーにおけるTNGA推進優秀賞、アウターミラーカバーにおける技術開発賞を初め、多くのお客さまから評価をいただき、次世代に向けての足がかりを築くことができました。

環境面では、2015年度は「第5次環境取組みプラン」の最終年度となりましたが、省エネ専門分科会での部署の垣根を越えた改善活動や豊田工場の再構築における環境へ配慮した工場づくりなどにより、CO₂排出量、廃

棄物発生量、輸送工程における梱包材および輸送CO₂排出量の原単位目標を、全て達成することができました。2011年度より社員全員で取組んできた活動が実を結び、大変うれしく思います。

2016年度からは、「第6次環境取組みプラン」がスタートします。これまでの活動を基軸に、海外拠点を含めたグローバル全体でのCO₂削減、サプライヤーとの連携強化、生物多様性保全の推進を新たに盛り込み、グローバル一丸となって取組んでいきます。

社会貢献活動では、「自然・地域と共生する」という経営理念のもと、地域の皆さまとのコミュニケーション活動に力を入れてきました。昨年10周年を迎えました愛知駅伝の協賛・運営協力や障がい者の方への自立支援などを通じて、社員の社会活動・ボランティア活動への積極的な参加を推進することができました。

当社グループは、ステークホルダーの皆さまから期待され、信頼される企業であり続けるため、お客さまや社会の声を良く聞き、より良いものの創造と環境にやさしい工場づくりに努力してまいります。今後も皆さまの一層のご支援と忌憚のないご意見をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

経営理念

1. お客様に喜ばれる商品を創造し、豊かな社会づくりに貢献する
2. 個性とチャレンジ精神を尊重し、若さと夢あふれた企業をめざす
3. 社会の一員として、法と倫理を遵守し自然・地域と共生する企業をめざす